

2024年 1月 21日 《 聖 餐 式 》

# 主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 聖歌588番「主と共に歩む」  
～あなたがたがわたしを選んだのではない～

使徒信条

聖書朗読 マルコによる福音書9章14～29節

特別賛美 宮田四郎夫妻（ホルンとお琴）

メッセージ 「信仰による祈りは奇跡を起こす」  
石井 潤 牧師

聖 餐 式 賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金 聖歌229番「アメイジング・グレイス」

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～叫べ、全地よ～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆  
《今週のお知らせ》

- ★本日は聖餐式礼拝。主の十字架と復活を感謝致します。午後は執事会です。
- ☆今週の祈り会：①早天祈禱会 明朝6時、②祈禱会：木曜午前10時半（WOGA 集会は3月から）夜7時半（大和祈禱会映像）。③準備祈禱会：土曜夜8時。
- ☆来週日曜午後は聖歌隊の練習が行われます。（司会：石井兄／祈り：松岡姉）

★☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [1/21-28]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	マタイ 5-6	7-9	10-11	12-13	14-16	17-19	20-21	22-23
チェック	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇

## 「信仰による祈りは奇跡を起こす」

～議論する信仰ではなく、キリストの言葉への信頼～

「あなたがたの中に苦しんでいる人があれば、祈りなさい。喜んでいてる人があれば、賛美の歌を歌いなさい。あなたがたの中に病気の人があれば、教会の長老たちを招き、主の名によってオリーブ油を塗り、祈ってもらいなさい。信仰による祈りは、弱っている人を救い、主はその人を起き上がらせてくださいます。その人が罪を犯しているのであれば、主は赦してくださいます。それゆえ、癒やされるように、互いに罪を告白し、互いのために祈りなさい。正しい人の執り成しは、大いに力があり、効果があります。エリヤは、私たちと同じ人間でしたが、雨が降らないようにと熱心に祈ると、三年六カ月にわたって地上に雨が降りませんでした。しかし、再び祈ると、天は雨を降らせ、大地は実りをもたらしました。」  
ヤコブの手紙5章13～17節[協会訳]

“オランダにハンドリック・クレイマーという神学者がおられました、彼が日本の教会のリサーチを頼まれて調査したところ、日本の教会について次のように報告しました。「日本の教会は議論する教会です。問題が起こると議論します。韓国では祈ります。台湾では賛美します。しかし、日本では議論します。議論の教会です。」”(大田原キリスト教会のHPより)

この神学者は1960年代に「日本の教会に対する批判」という文章を書いていて、その文章をお読みして感じたことは、日本のクリスチャン人口が1%であることを卑下することなく、クリスチャン一人一人が立ち上がって、証し人になるならば、神の栄光を現すことができると励ましているのだと感じました。

弟子たちは、イエス様不在の時には、議論しかできませんでしたが、イエス様が山からお下りになり、その状況に嘆息されましたが、その信仰の力によって悪霊を追い出してくださいました。そして、弟子たちに対して、お教えになりました。「このたぐいは、祈りと断食とを持って行うのだ」と。「このたぐい」とは、悪霊問題です。そして、この問題に対してイエス様は力がありましたが、弟子たちは人間たちは無力であることを教えたかったのでしょうか？イエス様はご自分はやがてこの地上を離れることをご承知で、自分の力を顕示したかったのではなく、弟子たちに対しても、その信仰の力を教えたかったのです。

上記のヤコブの言葉も、キリストが天に帰られてからの信仰の言葉です。キリストだから悪霊を追い出すことができたのではなく、「信じる者にはどんなことでもできる」(マルコ9章23節)ということをお教えたかった。そのキリストの伝えなかったことを弟のヤコブも語ったのだと思います。私たちは現実問題に対して、信仰の祈りによって対処することができます。私たち信仰者の祈りには力があります。「祈り」も「断食」も、神に近づくための方法です。私たちは何に信仰を置いているのでしょうか？今までの経験ででしょうか？今までの学問ででしょうか？世の中の知識ででしょうか？誰かの言葉ででしょうか？私たちの信仰はキリストの言葉への信頼でなければなりません。そして、キリストの言葉が、奇跡を起こすのです！